

「丹波市地球温暖化対策実行計画」 ∞平成28年度 進捗状況報告（平成27年度実績）∞

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3第10項に基づき、平成25年度に策定した「丹波市地球温暖化対策実行計画」（第二期実行計画）の進捗状況を報告、公表します。この計画では、実行計画の数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガスの排出抑制を行うことで、地球温暖化対策に取り組んでいくことを目的としています。

☆計画の概要☆

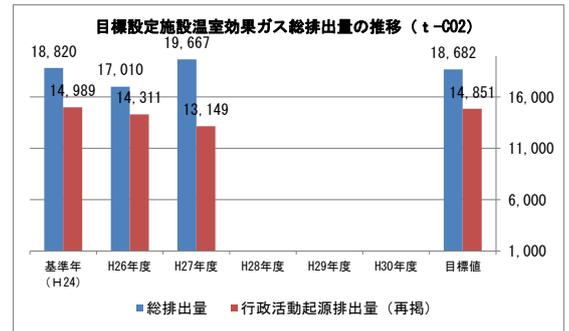
- ◎計画の基準年：平成24年度
- ◎実行計画期間：平成26年度～平成30年度（5年間）
- ◎調査対象施設：庁舎を含めた公共施設

【計画で対象となる温室効果ガス】4種類

- ・CO₂（二酸化炭素）、
- ・CH₄（メタン）、
- ・N₂O（一酸化二窒素）、
- ・HFC（ハイドロフルオロカーボン類）

◎基準年の温室効果ガス総排出量 **18,820t-CO₂**
 ☆行政活動起源 **14,989t-CO₂**
 ☆廃プラスチック起源 **3,831t-CO₂**

●温室効果ガス排出量の推移



★削減目標★基準排出量（18,820t-CO₂）に対し
 0.7%（138t-CO₂）削減

☆平成27年度温室効果ガス排出状況☆

◎平成27年度温室効果ガス総排出量 **19,667t-CO₂**
 ☆行政活動起源 **13,149t-CO₂**
 ☆廃プラスチック起源 **6,518t-CO₂**

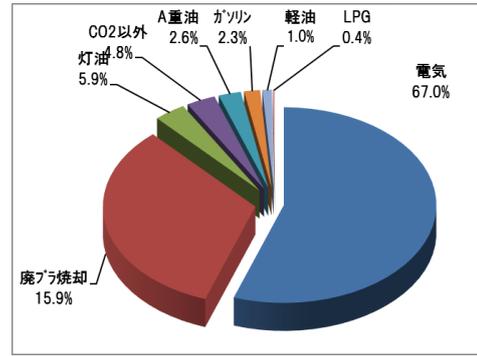
平成27年度温室効果ガス総排出量

排出量は19,667t-CO₂となり、基準年の排出量（18,820t-CO₂）に対して847t-CO₂（4.5%）増加しました。各項目ごとに見ると、燃料、電気等から生じる排出量は総じて減少しましたが、クリーンセンターでの廃プラスチック焼却量が大幅に増加したため、総排出量は増加しています。

◎行政活動起源による排出量の減少理由

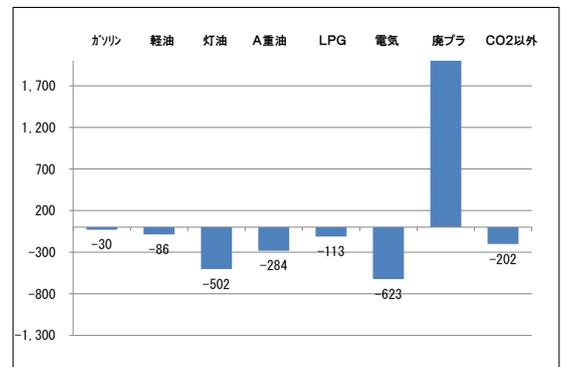
各施設で空調機器の温度設定（冷房28度・暖房20度）や、照明のこまめな消灯、間引きを行いました。設備面では平成27年度から新たに3施設でLED照明の導入を行い、消費電力の削減を行いました。

●温室効果ガス排出源構成（H27実績）



●排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況（単位：t-CO₂）

項目	H24年度	平成27年度		増減	
	排出量	排出量	基準年対比		
燃料	ガソリン	357	327	-8.4%	-30
	軽油	184	98	-46.7%	-86
	灯油	1,162	660	-43.2%	-502
	A重油	765	481	-37.1%	-284
	LPG	161	48	-70.2%	-113
電気	11,557	10,934	-5.4%	-623	
廃プラスチック焼却	3,831	6,518	70.1%	2,687	
CO ₂ 以外の温室効果ガス	803	601	-25.2%	-202	
温室効果ガス全体	18,820	19,667	4.5%	847	



温室効果ガス削減に向けての今後の課題

行政活動による排出量は3年連続で減少しており、引き続き、照明の消灯などのソフト面、空調機器の更新やLED照明の導入などのハード面の両方で排出量の削減に努めていきます。一方、廃プラスチック焼却による温室効果ガスの排出量は基準年と比較して大幅に増加しており、廃プラスチックによる温室効果ガスの排出量を減らすため、ごみの分別、リサイクルを徹底して行っていく必要があります。これからも各課で選任しているエコリーダーを中心に、全職員の温室効果ガス削減への意識を高め、市全体として数値目標の達成に向かって削減に取り組んでいきます。